

試聴会・訪問記掲載

河口無線夏のオーディオ三昧報告(2016.8.11)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もお盆休みに合わせて開催されていました。

2016年8月11日～2015年8月14日【3F ハイフィデリティ試聴室】

時間:PM1:00～PM5:00

<使用機材>

試聴対象は以下の3システムです。

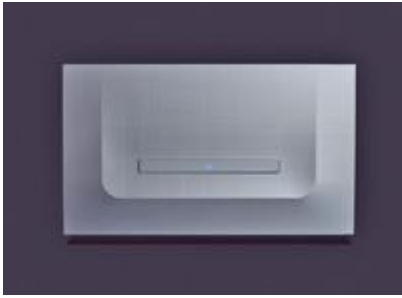
【第一システム】



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



コンステレーションオーディオ プリアンプ VIRGO-III ¥6,264,000



コンステレーションオーディオ パワーアンプ CENTAUR-II ¥7,452,000



エソテリック SACD プレイヤー K-01X ¥1,566,000



タスカム ワードクロックジェネレーター CG-1000 ¥162,000



リン ネットワークオーディオプレイヤー AKURATE-DS-K ¥972,000

【第二システム】



アバロン スピーカーシステム DIAMOND ¥6,264,000 (ペア)



ジェフローランド プリアンプ CORUS ¥2,289,600



ジェフローランド パワーアンプ Model-625S II ¥2,624,000



アキュフェーズ SACD プレイヤー DP-720 ¥1,188,000

【第三システム】



アセンド (ドイツ) スピーカーシステム SYSTEM-K-S ¥2,748,000 (ペア)



パス プリアンプ XP-10 ¥864,000



パス モノラルパワーアンプ XA-60.8 ¥1,944,000 (ペア)



ラックスマン SACD プレイヤー D-08u ¥1,188,000

<当日の設置状況>



第一システム



第二システム



第三システム

<試聴経過>

ちょうどお昼どきで試聴室が空いており、持参の CD でじっくり試聴ができました。第一システムでは、ヤンケのヴァイオリンとマーラーの 3 番を聴きましたが、非常に滑らかで、802D3 では聴いたことがない音がしていましたが、少し平面的で立体感が欲しい印象でした。音の滑らかさは、コンステレーションオーディオのアンプ、平面的な印象は、エソテリックのプレイヤーの特性かなと思いながら聴いていました。

第二システムでは、同じ CD を聴きましたが、こちらの方がハイエンドらしい音で立体感も出てくるようでした。Astell & Kern のネットワークプレイヤーも置いてありましたが、結線がなされていませんでした。

もっとも興味を惹かれたのは、第三システムで、ヤンケのヴァイオリンの倍音の出方、マーラーの 3 番のステージ感が良く出ていました。追加でグルミヨールのバッハと店にあったフォン・オッターのバロック歌曲を聴きましたが、弦や声の質感が良く出ていました。

SYSTEM-K-S の低域のキャビネットはスパイクで受けて専用台の上にセットされ、高域のキャビネットは専用台のアームで吊り下げられたようになっていて、アームの固定位置をスライドさせて位相を合せられるようになっています。また、二つのキャビネットは鳴きがほとんどなく、こういった構造がそのまま音に現れているように感じました。一度ディーラーの試聴会でじっくり聴いてみたいと感じました。

